

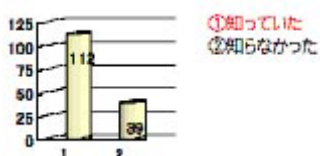
地域住民や社内等への啓発方法について

災害時、命の無事を確認したあとは、自らの健康を維持することが重要です。普段と全く異なる環境下での避難生活が始まると、あたり前の事が、あたり前のようにできなくなります。このあたり前をできるだけスムーズに行うには、何が大切で、どのようなものを備えるべきか、住民、行政、企業など、みんなで考えることが必要です。

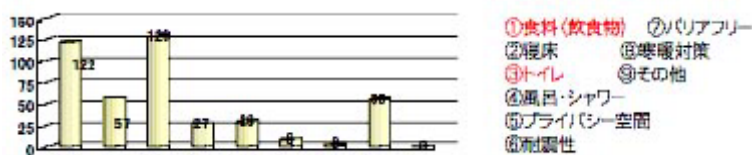
その開催にあたって、「多くの人が普段から集う場所で」「体験が可能な状態を作り」「無関心層を引き付ける仕掛けとともに」防災イベントを開催することが必要と考え、昨年「いざ！BOUSAI」というイベントを恵比寿ガーデンプレイスにて開催しました。

また、トイレ協会にて過去に実施したアンケートからは、次のような結果がありました。

「グラフ Q1.地震が起きると水洗トイレが使えなくなるって知っていましたか」



「グラフ Q2.災害時に避難所（生活）で重要視するものは」



「あなたが防災対策を行わない理由」としてあげられたもののTOP3をみると、以下のようにになりました。(N=842件)

1. 取り组むきっかけがない 352件 41.8%
2. 何とかなると思う 180件 21.4%
3. 費用がかかる 127件 15.1%

また、同アンケートにおいて、500件を超える防災に向けた心がけである「今日から行うBOUSAI」を宣言をいただきました。

これらの結果から、実際にこれらのイベントの有効性が検証できたかと思われます。